

デンタルフェア 2026 in 北九州活動報告書

開催日時：2026 年 6 月 7 日(日) 11 時～14 時
出務者数：言語聴覚士 16 名
活動内容：総合受付、案内誘導、舌圧測定、スクリーニング、相談(小児・成人)

成果・所感：

6 月 4 日は虫歯予防デーということで、北九州市立子育てふれあい交流プラザ（AIM ビル内）にて「デンタルフェア 2026in 北九州」が行われました。

北九州市では近年、虫歯のない子どもの割合が政令市で最下位を記録し、高齢者に多い口腔がんも市の高齢化に伴い年々増加しているそうです。そこでフェアでは、歯科医師が口の中をカメラで診る健康チェックや口唇圧測定、九州歯科大教授による口腔がん検診などがあり、歯科衛生士からはクイズをしながら歯磨き指導をしたり、言語聴覚士からは舌圧測定や言葉と脳のリハビリ体験、小児相談などを行いました。

外は雨模様ということもあり、親子連れも多く 620 名の来場者で各コーナーは大盛況でした。当会からは 16 名の ST が出務させていただき、普段関わることのない ST と交流する良い機会にもなりました。

北九州ブロック代表世話人 大藪久典



第 43 回 歯と口の健康フェア in 京築

令和 8 年 6 月 7 日(日)みやこ町のサン・グレートみやこで開催された「第 43 回 歯と口の健康フェア」に言語聴覚士として参加させていただきました。本年度も北九州地区の言語聴覚士の先生方にご協力いただき、総勢 10 名で活動に参加することができました。

言語聴覚士のブースでは、昨年までの編成を変更し今年は「発音チェック」「飲み込みチェック」「咀嚼ガム・吹き戻し体験」「成人の相談コーナー」「小児の相談コーナー」の催しを行いました。雨の中ではありますが、言語聴覚士のブースにもたくさんの来場者の方にお立ち寄りいただきました。若い世代のご家族も多く、親子でガム咀嚼体験をされ「お父さんよりよく噛めた！」等、笑顔で体験される様子がとても印象的でした。また、近くから来場された方には「私はいいって言ったのに、娘が参加しようよ。と連れてきたのよ。」と話される方もいらっしゃいましたが、しっかりチェックには参加され、楽しそうに過ごされており、こちらも微笑ましく感じました。家族からのお誘いで、「口の健康」について考える機会を持つことができ、「歯と口の健康フェア」の開催が健康意識を高めるための一つのきっかけとなっていることを感じました。

担当したコーナーでは、「最近、夜寝てる時に咳で目が覚めるんだよ。」「お茶とかはむせないけど、ご飯中たまにむせるんだよね。」等の相談もあり、飲み込みに意識を向けてくださる方も多く見られました。高齢の方だけでなく、若年層の方もたくさんの質問をくださり興味を持っていただけていることに驚きました。今回、一つ一つのコーナーでそれぞれの口腔機能について説明を受けていただく中で、予防への意識も高めることができたのでは無いかと思いました。

年々、参加してくださる方々の人数や年齢層も変化してきており、地域の方々と関わる中で言語聴覚士としての役割やこれからの活動について考えるいい機会となっています。今後も、地域の方々との関わりを持ちながらさまざまな視点からの意見を参考に、予防の視点からも活動参加していけたらと思います。

新行橋病院 宮嶋 真弥

